

山行NO NO. 1736-3  
日時 2017.05.05 (金) 快晴  
山域 越後・粟ヶ岳 (1293m)  
コース 加茂川・第一貯水池発5:16—第一展望台6:28—鎖場7:02—粟庭の頭—粟ヶ岳小屋7:25—北峰8:07—粟ヶ岳8:27~58—小屋9:45—鎖場10:16—貯水池11:35—美人の湯—北陸道—糸魚川—長野道—帰静  
標高差 上り 第一貯水池約150m~粟ヶ岳1293m==約1143m  
下り “  
参加者 L=GT、KH

## 粟ヶ岳はタムシバの山だった

3日目は、粟ヶ岳。最終日の山としては、やや手応えある標高差。

例えば、先日上った、丹沢・檜洞丸の標高は、1600mで標高差は1050m。粟ヶ岳は、標高こそ檜洞丸より低いですが、登山口が約150m。結果、檜洞丸より標高差は大きい。しかも、まだ、豊富な残雪を抱えている。

そもそも、第一貯水池は、かなりの山奥だが、標高が150mは摩訶不思議。この辺り一帯の山々は、殆ど平野にポコッと佇立している。標高的には、裾野駅・標高=約123mから袴腰岳・標高=1248mに上る感覚だ。ま、ちょっと比較に無理はあるが・・・。



一番奥が粟ヶ岳

貯水池から出発。既に2名先行した。今日の登山道は、中央登山道と呼ばれている。

池を渡ると急登が始まる。周りは、田虫葉（たむしば）が花盛り。田虫葉は、辛夷（こぶし）に花が似ているが、両者は花の形が違う。田虫葉の花は、長くヒラヒラしているが、辛夷は、丸い感じである。兎に角、この山は、田虫葉が多かった。

梯子を幾つか越えて、程なく尾根に乗る。道は案外歩き易かった。展望台から一番奥に粟ヶ岳が見えた。尾根は次第に急峻になり、梯子、鎖、ロープが出て来る。



鎖場



田虫葉



NO. 6看板

とても1300mほどの山と思えなかった。

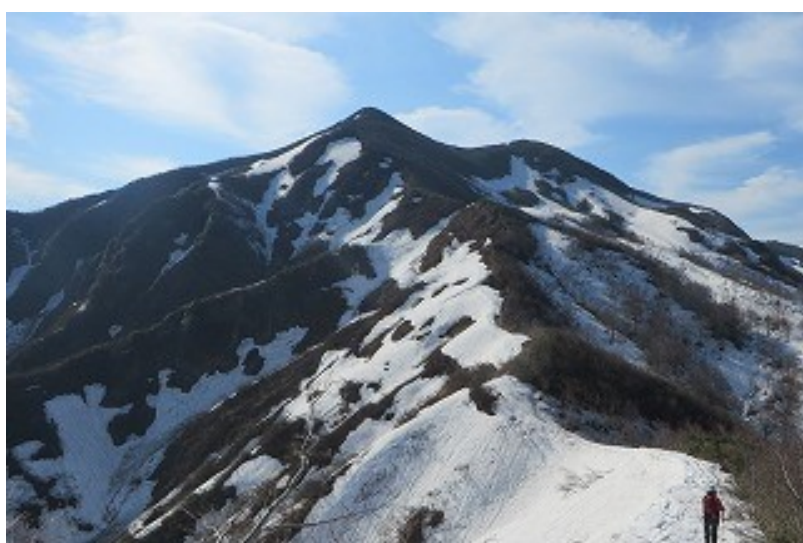
右手に長い長い裾を広げた守門岳が大きい。先日、我々が上った大岳の尾根は向こう側で見えない感じだった。雪はまだ多く、スキーが出来る情報。



粟ヶ岳ヒュッテ



中は綺麗



右奥が粟ヶ岳

ひと上りで、粟ヶ岳ヒュッテ着。立派な小屋だった。中もキレイ。貴重な小屋である。少し下り、権ノ神岳からの尾根と合う。この先が北峰。頂上は、まだ先だった。三日間の疲れがあった。しかし、踏ん張って上る。

朝、二番目に上った方が降りて来た。この方は、ズックだった。ほどなく頂上着。無風・快晴・高温・大展望。今回は全ての山で晴れて感謝だった。

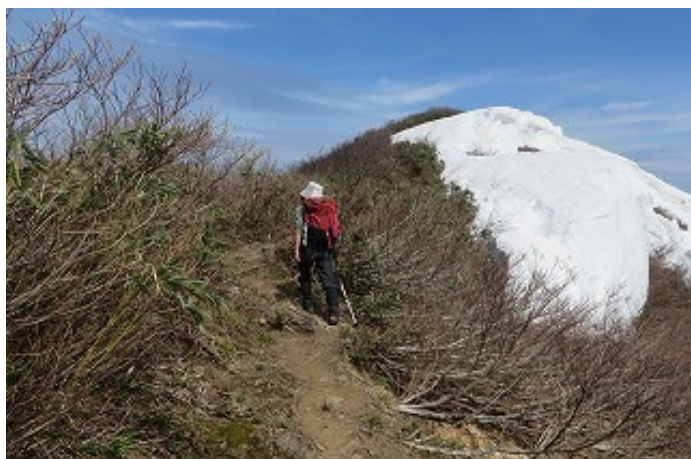
一番で上ったオジサンがいた。地元の方で方言が柔らかい。オジサンは長靴でなかった。歓談をする。話好きだった。小腹が減ったので食事。オジサンにも、いろいろ上げた。



粟ヶ岳頂上



次第に登山者が増えた。中に南面の南五百川方面から上った方がいた。こちらの登山口の標高は、約1000mしかなく、更に標高差は増える。この方は元気な方で、権ノ神岳方面に遊びに行くと話していた。お腹を満たし下山。ヒュッテが眼下だった。





猩猩袴



稚児百合

北峰の雪庇が大きかった。ヒュッテに着くと、何人か上って来た。

好天時は暑いので、早出早着が肝心である。

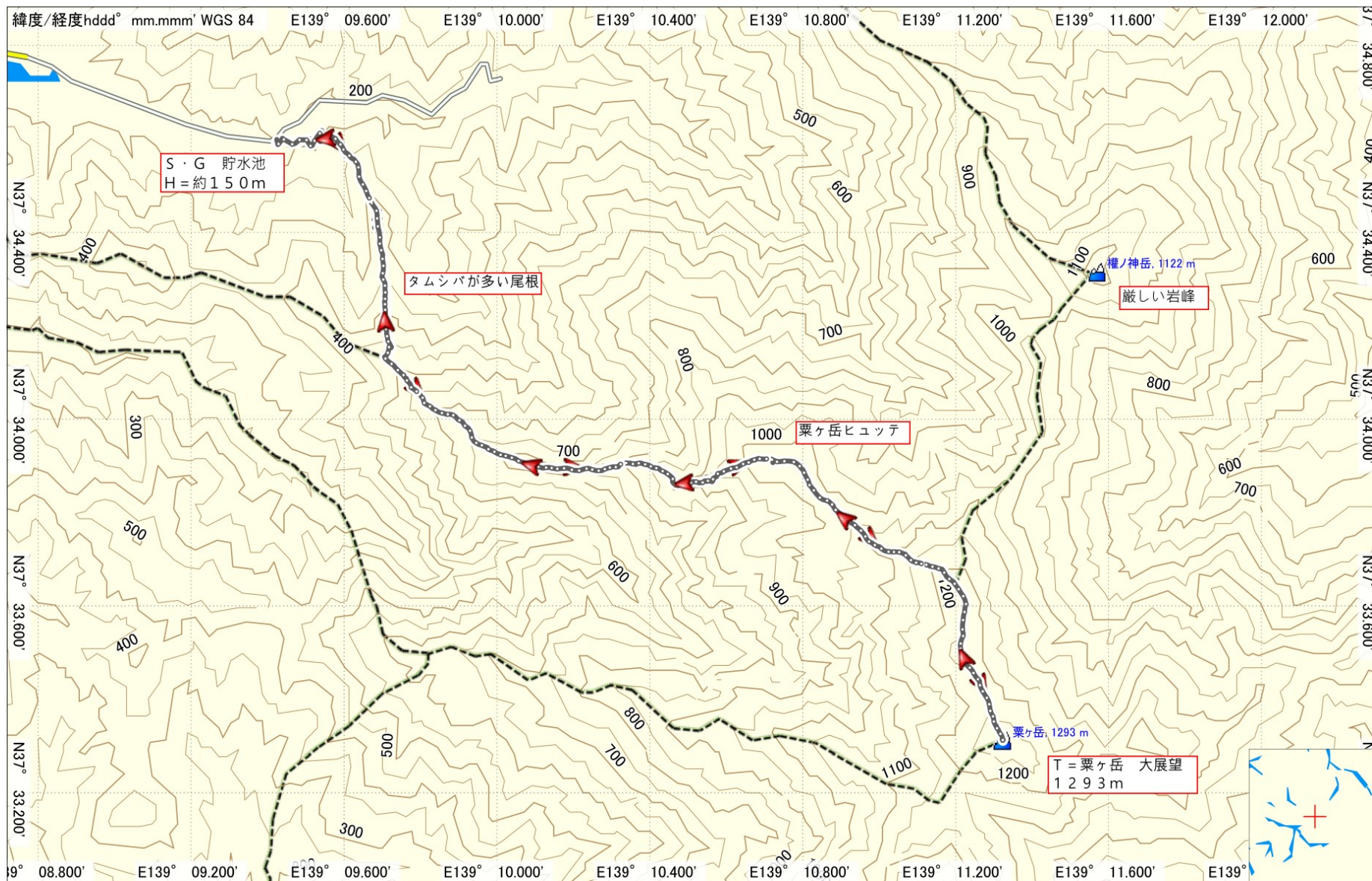
グングン下る。やっぱり田虫葉が多い。上部の花は新しくキレイ。蒼穹（そうきゆう）に映える。猩猩袴（しょうじょうばかま）、稚児百合が咲いていた。



岩団扇（K撮影）

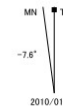
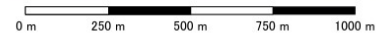
急坂を下れば、貯水池着。これで今回の山は予定通り全て無事に終わった。

温泉は、通り道の「美人の湯」（700-）。休憩所は、栗ヶ岳がバーンと見える、大展望で感動的だった。グリ井を喰って帰路についた。北陸道～長野道は空いていて、良いルートです。



Japan Topo 10M Plus V3  
 CanvasMaple Co., Ltd 2014  
 Garmin Corporation 1995-2014

2017/05/07 5:37:48



GARMIN